

## 会 告

## 日本きのこ学会 25 周年記念事業について

日本きのこ学会 25 周年記念事業実行委員会・委員長 山 中 勝 次

日本きのこ学会の 25 年を振り返ってみますと、1980 年代末に、きのこ研究に携わる大学や国・公立試験研究機関の研究者や、全国のきのこ関連産業の研究者・技術者の熱意と努力の結果生まれた「きのこ技術集談会」が本学会の原点となります。「きのこ技術集談会」は、1989 年（平成元年）、1 月 23 日に大阪における第 1 回総会において設立され、1997 年（平成 9 年）7 月 17 日に「日本応用きのこ学会」に名称変更されました。さらに、2004 年（平成 16 年）4 月 1 日に現在の「日本きのこ学会」として再出発いたしました。時代の流れとともに学会の名称を変えてまいりましたが、本学会の創設は 1989 年 1 月 23 日としており、今年 1 月に設立から 25 年目を迎えました。

この 25 年のあいだに、本学会は、学会誌とニュースレターの発行、年次大会・シンポジウム、国際シンポジウム（「IUMS サテライトシンポジウム・世界におけるきのこ技術の進歩」：1990 年、京都市、「きのこに関する国際シンポジウム」：2006 年、秋田市）、ワークショップ、きのこセミナー・きのこ観察会などの諸事業を行い、さらなる内容の充実をはかり、きのこ研究の進展ときのこ研究者・技術者の育成、きのこ産業の発展に大きく貢献してまいりました。同時に、1998 年には新潟市で「第 2 回日中食用菌会議」を開催し、2002 年（鳥取市）と 2008 年（福岡市）には日中韓 3 カ国による「アジアきのこ学会議」を開催してきました。

また、時代に対応してウェブサイト（日本きのこ学会ホームページ）を立ち上げ、学会誌の電子ジャーナル化を実現し、世界に伍して迅速な情報の共有を図ることに努力してまいりました。このような学会活動の実績が評価され、本学会は日本学術会議の学術登録団体となり、きのこの学術研究の中心となる研究団体として広く認められるようになってきました。

そこで、今般、設立 25 周年を記念して諸事業を執り行うこととなりました。2011 年 8 月に「25 周年記念事業案」が理事会で決定され、9 月には総会で承認されました。2011 年 11 月には理事会による 25 周年記念事業の具体的な企画案が確定され、「日本きのこ学会 25 周年記念事業実行委員会」が立ち上げられました。本事業遂行のために、會見実行委員会副委員長はじめワーキンググループ（WG）の多くの実行委員によって事業計画が検討されてきました。

「日本きのこ学会 25 周年記念事業」は、2012 年 10 月の総会における企画案承認後より、2015 年 3 月末までの期間に執行されます。事業内容は、①記念式典事業（WG 長：白坂理事）、②記念出版事業（WG 長：高島理事）、③学会誌関連事業（WG 長：霜村理事）の 3 つからなっています。

記念式典は、本年 9 月に開催される日本きのこ学会第 18 回大会（京都大学）において併催いたします。その中で、海外・国内のきのこ関連の学術団体や行政団体の来賓の方々から祝辞をいただきます。記念出版事業や学会誌関連事業などの事業内容をご説明し、「日本きのこ学会 25 年の歩み」として学会創設期から今日に至るまでの歴史を画像で振り返ってみます。とくに、大会、シンポジウム、ワークショップ、国際会議や国際シンポジウムにおける会員の方々の当時の活躍ぶりを懐かしい写真で観ていただきます。

記念出版事業は本学会の 25 年の歴史を記録した内容の記念本の出版です。これまでの学会活動の記録を中心に掲載しますが、同時に、団体会員から多くの原稿をいただいて「きのこ産業の 25 年」や「わが社の新規開発きのこや種菌、技術の歴史」など、日本のきのこ関連産業の技術開発と発展の歴史を概括した内容にいたします。

学会誌関連事業として、一つは「きのこ栽培用語集」の改訂版の発行です。現在の用語集には未掲載で、かつ学会誌などで出現頻度の高い用語や、きのこの栽培や利用に関する用語をできるだけ沢山収録し、より実用性の高い用語集の刊行を目指しています。また、用語集は電子化し、パソコン上での検索機能を追加いたします。二つ目は学会誌および大会講演要旨集のバックナンバーの PDF 化と DVD 出版です。1989 年設立時の「きのこ技術集談会会報」第 1 号から、オープンアクセスの可能な巻号の最近の「日本きのこ学会誌」までの刊行物と、年次大会やシンポジウムの講演要旨集など、本会の 25 年間の発展の歴史を物語る資料を収載いたします。

「日本きのこ学会 25 周年記念事業」のうち、そのクライマックスは本年 9 月 11 日に京都大学で開催の第 18 回大会で執り行われる「25 周年記念式典」です。この式典にはできるだけ多くの会員の皆様にご参加いただき、25 周年を祝すとともに、式典が本学会のさらなる発展のための新たな出発点となることを願って止みません。